



日本語能力考试 模拟试题集

主编

张厚泉 中川良雄

N1

N1

N2

N3

N4-N5

上海教育出版社
上海海文音像出版社

新日本语能力考试模拟试题集 N1

主 编 张厚泉
中川良雄

副主编 许小明
稻本麗香
小暮実乃里

上海教育出版社
上海海文音像出版社

图书在版编目(CIP)数据

新日本语能力考试模拟试题集 N1 / 张厚泉主编.
—上海: 上海教育出版社, 2010. 4

ISBN 978-7-5444-2901-6

I. ①新… II. ①张… III. ①日语—水平考试—习题
IV. ①H369.6

中国版本图书馆CIP数据核字(2010)第055878号

新日本语能力考试模拟试题集N1

张厚泉 中川良雄 主编

上海世纪出版股份有限公司
上海教育出版社 出版
上海海文音像出版社
易文网: www.ewen.cc

上海世纪出版股份有限公司
外语教育图书分公司 出品

(邮编: 200235 上海钦州南路71号11楼 021-64378133)

上海世纪出版股份有限公司发行中心 发行
上海人教海文图书音像有限公司

(邮编: 200083 上海水电路54号 021-56978943)

各地新华书店经销 上海华文印刷厂印制

开本 787×1092 1/16 印张 15.75

2010年4月第1版 2010年4月第1次印刷

印数 0 001—5 000

ISBN 978-7-5444-2901-6 / H · 0152 定价: 29.80元 (含一张MP3)

(如发生质量问题, 读者可向工厂调换)

前 言

日本国际交流基金和日本国际教育支援协会联合举办的“日本语能力考试(JLPT)”自 2010 年 7 月起实行新的考试形式。消息发布后,立刻引起了日语教学界、特别是广大日语学习爱好者和日语教师的极大关注。由于“新日本语能力考试”只公布了《新しい〈日本語能力試験〉ガイドブック》而没有考试大纲,因此,许多教师和学生纷纷感到无所适从。为了给广大师生提供一个全真考试的学习平台,由新世界教育集团、东华大学外语学院、上海海文音像出版社共同组建的日语教材研发中心,携手在日语教学界享有盛誉的京都外国语大学、杏林大学的日语教授专家联合开发了这套全新的模拟试题,以满足日语教学和考试学习的实际需要。

本系列丛书收集的 100 多篇阅读作品,荟萃了日本各大新闻社的评论、报道文章和日本著名作家、学者的名篇佳作,涉及到日本社会、经济、语言、教育、思想、文化等各个方面的内容。日本国官方、NHK 等 50 多家出版社和 100 多名作者对著作权的使用均欣然允诺并给予了热情的鼓励。从这个意义上说,本书的阅读作品不仅是值得信赖的应试模拟题集,也是了解和理解现代日本的阅读材料。

本书编写人员由中日两个专家小组构成,严格按照《新しい〈日本語能力試験〉ガイドブック》的考试要求编写。中方小组由东华大学日语系张厚泉主任教授和新世界进修学校许小明校长负责,承担了前期策划、框架结构、语法和词汇部分的编写工作;日方小组由京都外国语大学中川良雄主任教授负责,承担读解部分的选题和命题工作;听力部分则由经验丰富的杏林大学小暮実乃里老师承担。东华大学日语专家田村光博和熊木香鱼子两位老师对语法和词汇部分进行了精心审校。

本书在策划和出版过程中,得到了新世界教育集团许纬总裁、上海海文音像出版社方彩珍社长的大力支持。在此,谨代表编写组全体人员表示诚挚的感谢。

最后,衷心希望本书能够使广大日语爱好者在考取优异成绩的同时,对全方位增进理解日本社会和文化起到积极的作用。

2010 年 4 月 22 日

东华大学

张厚泉

“新日本语能力考试”改革要点

2010年7月开始实施的新日语能力考试(JLPT, 以下称“新能力考”), 是日本国际交流基金和日本国际教育支援协会针对日语学习者联合举办的日语能力考试。其报考人数在短短的二十余年, 由1984年考试伊始的7千人迅猛增加到了2008年的56万人, 成为目前世界上最具权威的、规模最大的日语水平考试。但是, 由于每次考试难于保证其试题保持相同的难易度, 且由于汉字的存在, 汉语地区和其他地区的考分也存在着较大的不可比性, 同时还存在着语言的运用能力也难以得到考察等诸多问题。“新能力考”就是在这种背景下, 经过改革后推出的、新的日语能力考试形式。

新能力考在形式上和内容上, 较之旧版的考试有了很大的改进。为此, 日本国际交流基金和日本国际教育支援协会于2009年7月公布了“新能力考”的概要, 即《新しい日本語能力試験》ガイドブック》。

“新能力考”的目标定位是能够测试应试者的“课题解决能力”以及为达到这一目的而必须具备的语言交际能力。换言之, “新能力考”较之“旧能力考”, 注重对问题解决能力和语言交际能力的考查。通过对支撑这两种能力的语言知识进行测评, 力图使考试能够客观地反映出日语学习者的语言实际运用能力。因此, 日语学习者要取得好成绩, 就需要对改革后的考试形式和内容有一定的了解和把握。

“新能力考”主要在以下几个方面进行了改革:

1. 级别设置的变化

“新能力考”共有1级~5级5个等级, 分别以N1、N2、N3、N4、N5命名。

由于旧版能力考的3级和2级之间在语法和词汇上跨度较大, 导致很多通过旧3级的考生很难通过旧2级。“新能力考”合理考虑了这些因素, 在旧版的2级和3级之间新增加了一个级别。这样, “新能力考”就有了5个级别。在考分分布上, 所有的级别均为180分满分。但是, 各个级别还是有一定的不同之处。

N1至N3“语言知识(文字·词汇·语法)”“阅读”“听力”均为60分满分, N4和N5则“语言知识(文字·词汇·语法)·阅读”为120分满分, “听力”为60分满分。

新旧版日语能力考试的具体对照和考试时间如下表:

旧能力考	新能力考	难易度比较	考试科目(时间)		
1 级	N1	比旧 1 级略有提高	语言知识(文字・词汇・语法)・阅读 (110 分钟)		听力 (60 分钟)
2 级	N2	与旧 2 级大致相同	语言知识(文字・词汇・语法)・阅读 (105 分钟)		听力 (50 分钟)
	N3 (新)	介于旧 2 级和 3 级之间	语言知识 (文字・词汇) (30 分钟)	语言知识(语法)・阅读 (70 分钟)	听力 (40 分钟)
3 级	N4	与旧 3 级大致相同	语言知识 (文字・词汇) (30 分钟)	语言知识(语法)・阅读 (60 分钟)	听力 (35 分钟)
4 级	N5	与旧 4 级大致相同	语言知识 (文字・词汇) (25 分钟)	语言知识(语法)・阅读 (50 分钟)	听力 (30 分钟)

2. N1 级别的考试题型与框架

考试科目 (考试时间)		考题框架				
		大问题		小问题数	考核目的	
语言知识 ・ 阅读 (110 分钟)	文字・词汇	1	汉字读音	◇	6	考察汉字词语的读音
		2	文脉推断	○	7	根据文脉, 推断适当的词语
		3	近义词辨析	○	6	考察近义词的辨析能力
		4	词语用法	○	6	考察词语在句子中的用法
	语法	5	语法点	○	10	考察语法点在句子中的用法
		6	句法	新	5	考察是否具备语法点的造句能力
		7	文章语法	新	5	考察是否具备辨别文章中句子作用的能力
	阅读	8	理解内容(短篇)	○	4	200 字左右的短文。考察对涉及生活、工作等话题的说明文的理解度
		9	理解内容(中篇)	○	9	500 字左右的中篇评论、解说、散文。考察是否理解因果关系或理由等。
		10	理解内容(长篇)	○	4	1000 字左右的长篇解说、散文、小说等。考察对文章的概要、作者的观点的理解能力。
		11	综合理解	新	3	2 篇以上、共约 600 字左右的文章。考察对文章的比较能力和综合理解能力。
		12	理解主张(长篇)	◇	4	1000 字左右的社论、评论等抽象性、理论性文章。考察对文章的主张或意见的理解能力。
		13	检索信息	新	2	700 字左右的广告、介绍、信息载体、商务文件等信息材料。考察从中获取必要信息的能力。

(续表)

考试科目 (考试时间)	考题框架				
	大问题		小问题数	考核目的	
听力 (60 分钟)	1	理解课题	◇	6	听一段录音, 考察对录音内容的理解能力 (从听到的内容中获取必要的信息, 确定下一步方案)。
	2	理解要点	◇	7	听一段录音, 考察对录音内容的理解能力 (按照事先提示要点, 有针对性地听取内容)。
	3	理解概要	◇	6	听一段录音, 考察对录音内容的理解能力 (根据会话前后内容, 理解说话人的意图或主张)。
	4	速答	新	14	考察对提问等简短发话能否作出适当回答的能力。
	5	综合理解	◇	4	听较长的文章, 考察对多个信息进行比较、综合, 理解内容的能力。

新——表示“旧能力考”没有出现过的新题型;

◇——表示“旧能力考”虽有出现, 但有部分略微进行了调整;

○——表示与“旧能力考”相同的题型;

“小问题数”——每次考试的小问题数会略有不同。

目 次

第一回	1
第二回	23
第三回	45
第四回	65
第五回	85
第六回	105
第七回	127
第八回	148
解答用紙	169
付録	
付録Ⅰ スクリプト	171
付録Ⅱ 参考解答	235

第一回

言語知識(文字・語彙・文法)・読解

問題1 _____の言葉の読み方として最もよいものを、1・2・3・4から一つ選びなさい。

- [1] 改訂した本の巻末には各種索引を掲げ、読者の便宜を図っている。
1 びんに 2 びんぎ 3 べんに 4 べんぎ
- [2] 政府は感染が広がることを予防する適切な措置を取らなかった。
1 そち 2 そうち 3 そおき 4 そうおき
- [3] 何か仕事が見つかるだろうという漠然とした考えで上京した。
1 ぼうぜん 2 ぼうねん 3 ばくぜん 4 ばくねん
- [4] 日々の雑用に紛れて、ついご無沙汰しました。
1 かぶれて 2 こじれて 3 すたれて 4 まぎれて
- [5] われわれは不安に怯えて、一夜を過ごした。
1 おとろえて 2 おびえて 3 こしらえて 4 とだえて
- [6] 彼女は彼の前ではいたってお淑やかにしていた。
1 おだやか 2 しとやか 3 なごやか 4 はなやか

問題2 ()に入れるのに最もよいものを、1・2・3・4から一つ選びなさい。

- [7] 私たちは()を尽くしたが、なにも役に立たなかった。
1 最高 2 最上 3 最善 4 最良
- [8] ()の医療チームを作って治療に当たった。
1 緊急 2 早急 3 至急 4 特急
- [9] 最善と思われる()を、施しなさい。
1 処置 2 処罰 3 処分 4 処理
- [10] 少数の若者が騒いだため、成人式が()無しになるところだった。
1 銭 2 台 3 文 4 用
- [11] 彼は全身全霊を仕事に()。
1 打ち込んだ 2 押し込んだ 3 溶け込んだ 4 放り込んだ
- [12] あの歌手はあまりにも()されすぎている。
1 あやふや 2 すやすや 3 ちやほや 4 にやにや
- [13] デフレに対する()な対応を政府に求める。
1 適宜 2 適切 3 適度 4 適当

問題3 _____の言葉に意味が最も近いものを、1・2・3・4から一つ選びなさい。

- 14 そのテレビドラマは原作の趣が損なわれていた。
 1 意趣 2 情趣 3 趣旨 4 趣味
- 15 彼女は、自分の小遣いで費用を賄っていた。
 1 くみあわせて 2 といあわせて 3 まちあわせて 4 まにあわせて
- 16 彼女は100メートルを11秒きっちりで走った。
 1 がっしり 2 きっかり 3 げっそり 4 てっきり
- 17 父の自慢の盆栽は枝が折れて、情けない姿になってしまった。
 1 おっかない 2 おっけない 3 そっけない 4 みっともない
- 18 先生は身近な例を引いて、説明してくれた。
 1 手軽 2 手頃 3 手近 4 手前
- 19 悪いことをして、学校から放り出された。
 1 おいだされた 2 なげだされた 3 にげだされた 4 ぬけだされた

問題4 次の言葉の使い方として最もよいものを、1・2・3・4から一つ選びなさい。

- 20 温存
 1 地球環境の温存に取り組むことが必要となる。
 2 監督は主力選手を温存して決勝戦に備えた。
 3 もっと温存をもって、接してやってください。
 4 この食品は30度以下で温存したほうがいい。
- 21 一筋
 1 入社以来、技術畑を一筋に歩んできた。
 2 あの人の言うことなら、彼は一筋に信じ込んでいるらしい。
 3 一筋に授業をさぼってばかりいたので、試験に次々と落ちた。
 4 事態は、悪化の一筋をたどっている。
- 22 なれなれしい
 1 二人はとてもなれなれしい間柄だ。
 2 あの子はなれなれしい顔をしている。
 3 会ったばかりだというのに、妙になれなれしい男だった。
 4 上海に来て1年になったのに、まだ現地の生活にはなれなれしくない。
- 23 明朗
 1 空が非常に明朗している。
 2 この問題に対する彼の態度は明朗している。
 3 この絵は明朗な色を使っている。
 4 経営陣が新しくなって、会計も明朗になった。

24 挑む

- 1 あんな挑むようなポーズをとってはいけない。
- 2 刑事たちは真相の解明に挑んでいる。
- 3 母は女手一つで家を挑んでいる。
- 4 相手は足元を見て値段を挑んできた。

25 かねて

- 1 パリは、かねてから行きたいと思っていた。
- 2 私たちはかねてこの道を歩いたことがある。
- 3 私たちはかねて飲み物を用意しておいた。
- 4 かねての力が出し切れず、試合に負けてしまった。

問題 5 次の文の()に入れるのに最もよいものを、1・2・3・4から一つ選びなさい。

26 あいつと()、いつも遅れて来るんだから、頭にくるよ。

- 1 いえば 2 きたら 3 くると 4 すれば

27 わたし()の未熟者に、こんな重要な役が果たせるでしょうか。

- 1 ごとく 2 ごと 3 ごとき 4 ごとし

28 お近くにお越しの折には、お遊び()お寄りください。

- 1 がてら 2 かたわら 3 ついで 4 と同時に

29 部下の失敗に対して、上司として知らなかったでは()と叱責された。

- 1 おられない 2 おかない 3 いられない 4 すまない

30 聞いたそば()忘れてしまうなんて、我ながら情けない。

- 1 から 2 まで 3 でも 4 にも

31 エジソンは周囲の非難を()、実験を続けた。

- 1 ものにせず 2 ものともせず 3 ものにして 4 ものではなく

32 不況のため労働者は、賃金カットを余儀なく()しまった。

- 1 されて 2 させて 3 させられて 4 して

33 彼が犯人だと断定できない()、いろいろと怪しいところがある。

- 1 からに 2 からも 3 までも 4 ままでに

34 一戸建ての家を購入せんが()、貯金に励んでいる。

- 1 から 2 ため 3 ので 4 ばかり

35 今さら手術をした()、その患者は助からない。もう手遅れだ。

- 1 ところに 2 ところで 3 までも 4 ままでに

【文法】

問題6 次の文の ★ に入る最もよいものを、1・2・3・4から一つ選びなさい。

(問題例)

チーム全員の団結 _____ ★ _____ も夢ではない。

1 すれば 2 優勝 3 をもって 4 全国大会での

(解答の仕方)

1. 正しい文はこうです。

チーム全員の団結 _____ ★ _____ も夢ではない。

3 をもって 1 すれば 4 全国大会での 2 優勝

2. ★ に入る番号を解答用紙にマークします。

(解答用紙)

(例)	①	②	③	●
-----	---	---	---	---

36 泥棒は _____ ★ _____ 目撃された。

1 ところを 2 家に 3 近所の人に 4 侵入する

37 本のタイトル _____ ★ _____ のだが。

1 分かれば 2 ある 3 さがしようも 4 さえ

38 このような新しい発想は _____ ★ _____ だろう。

1 若者 2 まさに 3 のもの 4 ならでは

39 イギリスに _____ ★ _____ 親戚や恩師、友人の家を訪ねた。

1 に先立ち 2 かたがた 3 留学する 4 あいさつ

40 うちの主人はよく今日 _____ ★ _____ つい吸ってしまう。

1 みせるぞ 2 タバコを止めて

3 というそばから 4 こそ

問題7 次の文章を読んで、41 から 45 の中に入る最もよいものを、1・2・3・4から一つ選びなさい。

私は、私達が共にした最初の日々、私が節子の枕もとに殆んど付き 41 で過したそれらの日々を思い浮べようとすると、それらの日々が互に似ているために、その魅力はなくてはならない単一さのために、殆んどどれが後だか先きだか見分けがつかなくなるような気がする。

と言うよりも、私達はそれらの似たような日々を繰り返しているうちに、いつか全く時間というものからも抜け出してしまっていた [42] 位だ。そして、そういう時間から抜け出したような日々 [43]、私達の日常生活のどんな些細なものまで、その一つ一つがいままでとは全然異った魅力を持ち出すのだ。私の身近にあるこの微温い、好い匂いのする存在、その少し早い呼吸、私の手をとっているそのしなやかな手、その微笑、それからまたときどき取り交わす平凡な会話、——そう云ったものを若し取り除いてしまうとしたら、あとには何も残らないような単一な日々だけれども、——我々の人生なんぞというものは要素的には実はこれだけなのだ、そして、こんなささやかなものだけで私達がこれほどまで [44] のは、ただ私がそれをこの女と共にしているからなのだ、と云うことを私は確信して居られた。

それらの日々に於ける唯一の出来事と云えば、彼女がときおり熱を出すこと位だった。それは彼女の体をじりじり [45] 行くものにちがいがなかった。

(堀辰雄『風立ちぬ』による)

41

- 1 きり 2 まま 3 つばなし 4 がち

42

- 1 ような気になる 2 ような気さえる
3 ような気にならない 4 ような気さえしない

43

- 1 があれば 2 にあれば 3 があっては 4 にあっては

44

- 1 満足させられる 2 満足しておかない
3 満足してられる 4 満足させてられない

45

- 1 衰えて 2 衰えさせて 3 衰えられて 4 衰えにして

問題 8 次の文章を読んで、後の問いに対する答えとして最もよいものを、1・2・3・4から一つ選びなさい。

(1) ①人のもたらす「ありがた迷惑」が、動物界には少なくない。これからの季節は、巢から落ちたヒナ(注)を拾うのもその一つだ。ヒナが落ちても、親鳥は世話を続けていることが多い。

良かれと動物病院へ持ち込んでも、それは「誘拐」。そっとしておいてと、日本野鳥の会などがキャンペーンを始めた。弱って死んでも、それが食べ物になって別の命を育む。

「自然界の命の原則は、ほかの生き物の食物になること」と安易な感傷を戒める。

(『天声人語』2008年4月13日『朝日新聞』による)

(注)ヒナ：鳥の子ども

46 ① 人のもたらす「ありがた迷惑」とは、どういうことか。

- 1 人が動物を助け、人と動物が共存するべきだということ
- 2 人は困っている動物を助けようとしない、不親切であること
- 3 人が動物を助けようと思っても、動物からすれば嬉しくないこと
- 4 人がやさしく動物を助け、その代わりに動物が人を助けること

47 日本野鳥の会が訴えていることは何か。

- 1 困っている動物を見てかわいそうだと思う気持ちを大切にしてほしい。
- 2 巣から落ちたヒナを勝手に連れて行くと親鳥が悲しむのでやめてほしい。
- 3 人間の勝手な親切は、動物にとってはよくないことなのでやめてほしい。
- 4 かわいそうかもしれないが、鳥は人に食べられるために生きているのだ。

(2) 明治時代、大正時代という言い方がある。天皇の在位という、いわば偶然なものによってでも、私たちは時間を区切り、それが妥当なものであるかのように感じるができる。本当は、もっと重要な事件や何かによって区切ったほうが、歴史的に正しいのだろうけれど、明治生まれのものという、とても古い感じがするし、いかにもそれらしい、と分類できる。たった一日しかちがわなくても、昭和最後の年の1月7日生まれの人と平成最初の1月8日生まれの人は、昭和生まれと平成生まれで、何だか印象ががらりとちがう。

(金田一秀穂『新しい日本語の予習法』角川書店による)

48 筆者がここで最も言いたいことは何か。

- 1 明治生まれの人は、古い人間である。
- 2 昭和と平成生まれの人は、若い人間である。
- 3 明治時代などの時間の区切りは、妥当だといえる。
- 4 時間の区切りは、重要な事件で区切ったほうがいい。

(3) 日本のことわざの中には、「猫舌」や「猫に小判」「猫も杓子も」など、猫を話題にしたものが多い。これらのことわざを外国人に理解させるのはむずかしいそうだ。

日本人に「好きな動物は何か」と問うと、1番が犬、2番目には猫が来るそうである。つまり猫は、日本では古来から親しみのある動物としてかわいがられてきたようである。

外国では猫は不吉な動物として敬遠されてきた。そのため猫の愛しさを外国人が理解するのはむずかしいだろうというわけである。

(中川良雄『猫』による)

49 筆者がこの文章で言いたいことはどんなことか。

- 1 「猫に小判」という言葉を理解するには、まず猫を好きにならなければならない。
- 2 猫の行動特性をよく観察すれば、猫に関する話題の意味を理解することができる。
- 3 猫に関する話題を十分に理解するには、日本文化の背景を深く知る必要がある。
- 4 猫に関することわざを理解できないのは、日本文化への関心が低いためである。

問題9 次の文章を読んで、後の問いに対する答えとして、最もよいものを1・2・3・4から一つ選びなさい。

(1) 私の息子は、2歳から5歳まで、アメリカで3年間過ごした。家では日本語で暮らし、保育園では英語で暮らしていた。毎日保育園から帰ってくると、どのように過ごしていたのかを聞くのだが、①あまりはかばかしい答えが返ってこなかった。男の子というのは無口なもので、あまり感想もないのであると勝手に考えていた。

あるとき、保育園で遠足に行くということになり、父親である私がついて行くことになった。近所の飛行機場へ行き、公園でお弁当を食べて帰る、という遠足である。遠足のさいちゅう、ずっと親子は一緒に歩いていたいいのだった。②私も息子も、かなり楽しんだ。

(中略)

家に帰ってきて、カミサンが息子に、今日はどうであったかを聞いた。その時の息子は、それまでになく饒舌だった。

「あのね、ひこうきがいっぱいいた。プロペラ機がいた。りりくしたり、ちゃくりくしたりした。ちゃくりくするとき、ほこりがぱっと出た。カンセイトウがあった。ねんりょうタンクもあった。かくのうこも大きかった…」

ぼんやり聞いていて、それみんな、私が息子としゃべったことじゃないか、と思い、私がカミサンに話すことをみんな先に話されちゃったじゃないか。と少し困って、③そうしてやっと気づいた。

(金田一秀穂「ことばのことばっかし」マガジンハウスによる)

50 ①あまりはかばかしい答えが返ってこなかったと筆者の考える理由は何か。

- 1 子どもは男なので、無口で感想がないのも仕方がないから。
- 2 筆者が男なので、当然無口で感想がないのも仕方がないから。
- 3 アメリカで暮らしたので、息子は日本語をあまり話せないから。
- 4 家では日本語で話して、アメリカのことはあまり知らないから。

51 ②私も息子も、かなり楽しんだ理由はなんであったか。

- 1 親子は一緒に遠足することができたからだ。
- 2 親子は一緒に楽しく話しながら散歩できたからだ。

【読解】

3 親子は共通の話題について、英語で話すことができたからだ。

4 親子は共通の話題について、日本語で話すことができたからだ。

52 ③そうしてやっと気づいたとあるが、筆者の考えにもっとも近いものはどれか。

1 息子はお母さんのことが好きだった。

2 息子はお父さんのことが好きだった。

3 息子は男の子だから、無口だ。

4 息子は別に無口な子じゃなかった。

(2) どの社会の衣服も、その地域の自然の自然環境にかなうように、長い年月をかけて、そこに住む人びとが創りあげたものである。きものもまた、古代からさまざまな移り変わりを重ねて、いまのようなかたちになった。⑩これから変容してゆくであろう。

わたしは、日本で洋服を着ていると、いつもどこかが痛くなった。冬は必ずといっていいほど、風邪をひいて熱を出した。夏は、とくに冷房が入るようになってからは、一日中ホテルや会議場などに座っていると、冷房病になった。ところが、アメリカやカナダや中国では、洋服を着ていてもどこも痛くならないし、風邪もほとんどひかない。かえって昼間きものを着ていると、息苦しく、暑苦しくなる。これはいったいどういうことだろうか。

日本では、底冷えということばは日常語である。しかし、⑪英語で表現しようと思っても、うまくいえない。中国語でもわたしは思い当たらない。おそらく、中国やアメリカ大陸の、少なくともわたしが訪れたか、あるいは住んだことのある地域では、比較的空気が乾いているためであろう。

これに比べて、湿度の高い日本の風土には、きものがうまく温度と湿度との調整をするように工夫されている。きものにはあらゆるところに窓があつて、風通しがよい。幾重にも布が重なり合っているので、寒い時はきれときれとの間の空気が、体温によって温まり、暖房の働きをする。暑い時には涼風をさそいこむ。そして、寒い時も暑い時も、適当に湿度を調整するおのずから空調の役割をはたしているのである。⑫帯は、だてに締めているわけではない。女の体のいちばん大事なところを、温かく守ってくれる。きものを着ていると、ほかほか温かく、勇気がでるのは、そのためだろう。

(鶴見和子『きもの自在』晶文社による)

53 ①これから変容してゆくとあるものはどれか。

1 社会風習

2 自然環境

3 洋服

4 和服

54 ②英語で表現しようと思っても、うまくいえない。中国語でもわたしは思い当たらないのはどうしてか。

1 英語や中国語では別の意味の言葉があるから。

2 作者は英語や中国語をあまりよく知らないから。

3 日本はアメリカや中国に比べて、空気の中に水分がありませんから。

4 日本はアメリカや中国に比べて、空気がしめっているから。

55 ③帯は、だてに締めているわけではないとはどういう意味か。

1 帯を締めるのは好きではないが、仕方がないから締めている。

2 帯は着物を着る上で、無くてはならない重要なものだから締めている。

3 帯はただ、きれいに见せるためだけに締めているのではない。

4 帯は、締めてもしめなくてもどちらでもいい程度のものだ。

(3) ①受験的学問は、答えだけあって、問いがない。いや、問いはあるのだ。先生や試験官が与える。自分の自発的・内発的じはつてき ないはつてきな問いではない。「②学問とは問うこと」ということとは異なる。

しかし、多くの日本人は、学問とは受験勉強を見本として考えるようである。ほんとうはそうではない。「別の、本物の知的空間があるのだ」ということを、みなさんに知ってほしくて、この本を書いた。

学問でも、人生でも、問うほうが答えるほうよりも偉いえらのである。問いがあって、はじめて答えがある、問いがなければ答えはない。問題を出す先生や試験官がいつも答える学生より偉くては、学生は永遠に学生だ。③答えだけの受験勉強は学「問」ではないのである。

受験勉強にも多少、いいところはある。またそう思わなければ、高校時代にあれだけのエネルギーを受験勉強とうに投じることが無駄むだになる。

が、それは受験さえ過ぎれば、あまり使えない型かたの学問である。見ず知らずの人が出した問いだから、その後の生活でも、めったに出会うことのない、変な問いである。それは、他人の問いに答えるものであって、自分の問いではないから、試験がすんだら忘れてしまいか、自発性・内発性がないから、あまり印象にも残らない。

(中山茂『大学生になるきみへ 知的空間入門』岩波書店による)

56 ①受験的学問は、答えだけあって、問いがないとあるが、筆者の考えに近いものはどれか。

1 試験は小論文が多いから、それは問いではない。

2 選択問題だから、先生や試験官からの問いではない。

3 試験は、自分からの自発的・内発的な問いではない。

4 試験には答えもあるから、本当の問いではない。

57 ②「学問とは問うこと」とはどういうことか。

1 自ら問題を発見して問いを出すこと

2 先生や試験官の方に問うこと

3 忘れられない問いを出すこと

4 知っている人に問いを出してもらうこと